

福島県公立学校退職校長会
田村支部会報
たむら
第32号
発行者 管野 正秀

特に不登校への対応については、「誰一人取り残されない学びの保障」として、学びの多様化等について論じられ、また、今年度末の高校入試は、報道でもありましたように、出欠の記録を選抜資料としないこととなりました。

A.I.の活用についても、十月十二日、香川県高松市で行われ全中国学校長研修会（全日中）でも、A.I.が東大理IIIの入試問題を正答した、という講話を聞き、活用の有無より、いかに活用していくか、ということに議論の転換が必要であることを感じました。

働き方改革及び部活動の地域展開などについても方向性は示されているものの、取り組み方に校種差、個人差があり、各校において苦労しながら「折り合い」を付けながら進めております。

このように、学校単独で解消できない課題が多く、地区校長会としても情報交換しながら知恵を出し合つて進めているところです。

退職校長会の皆様には、これらが、そうでなくなつていることが多々あります。特に、不登校への対応方法、授業のデジタル化、働き方改革などは、喫緊の課題となつております。特に、待つたなしで対応しなければならないこととなつています。校長として、これらのことに対する認識を常に「アップデート」しなければならない状況なのですが、次から次へと出される情報に追いついていないのが現状です。

心より御礼申しあげます。

さて、現在の学校教育は大きな変革期を迎えております。（学習指導要領の改訂の時期になると毎回言われているように感じますが・・・。）これまで学校教育の中で行われてきた「当たり前」のこと

が、どうなつてきているか、どうなつてきています。特に、小中学校長会には、日頃より小中学校長会に対し、ご助言を賜り、衷心より御礼申しあげます。

田村地区小中学校長連絡会
会長 菅野 学

皆様には、日頃より小中学校長会に対し、ご支援とご助言を賜り、衷心より御礼申しあげます。

十二日、香川県高松市で行われ全中国学校長研修会（全日中）でも、A.I.が東大理IIIの入試問題を正答した、という講話を聞き、活用の有無より、いかに活用していくか、と

いうことに議論の転換が必要であることを感じました。

働き方改革及び部活動の地域展開などについても方向性は示されているものの、取り組み方に校種差、個人差があり、各校において苦労しながら「折り合い」を付けながら進めております。

このように、学校単独で解消できない課題が多く、地区校長会としても情報交換しながら知恵を出し合つて進めているところです。

退職校長会の皆様には、これらが、そうでなくなつていることが多々あります。特に、待つたなしで対応しなければならないこととなつています。校長として、これらのことに対する認識を常に「アップデート」しなければならない状況なのですが、次から次へと出される情報に追いついていないのが現状です。

働き方改革及び部活動の地域展開などについても方向性は示されているものの、取り組み方に校種差、個人差があり、各校において苦労しながら「折り合い」を付けながら進めております。

このように、学校単独で解消できない課題が多く、地区校長会としても情報交換しながら知恵を出し合つて進めているところです。

退職校長会の皆様には、これらが、そうでなくなつていることが多々あります。特に、待つたなしで対応しなければならないこととなつています。校長として、これらのことに対する認識を常に「アップデート」しなければならない状況なのですが、次から次へと出される情報に追いついていないのが現状です。

働き方改革及び部活動の地域展開などについても方向性は示されているものの、取り組み方に校種差、個人差があり、各校において苦労しながら「折り合い」を付けながら進めております。

このように、学校単独で解消できない課題が多く、地区校長会としても情報交換しながら知恵を出し合つて進めているところです。

退職校長会の皆様には、これらが、そうでなくなつていることが多々あります。特に、待つたなしで対応しなければならないこととなつています。校長として、これらのことに対する認識を常に「アップデート」しなければならない状況なのですが、次から次へと出される情報に追いついていないのが現状です。

働き方改革及び部活動の地域展開などについても方向性は示されているものの、取り組み方に校種差、個人差があり、各校において苦労しながら「折り合い」を付けながら進めております。

このように、学校単独で解消できない課題が多く、地区校長会としても情報交換しながら知恵を出し合つて進めているところです。

退職校長会の皆様には、これらが、そうでなくなつていることが多々あります。特に、待つたなしで対応しなければならないこととなつています。校長として、これらのことに対する認識を常に「アップデート」しなければならない状況なのですが、次から次へと出される情報に追いついていないのが現状です。

最初の目的地は猪苗代町の土津神社。保科正之公が会津藩を見守るため自ら定められた墓地だそうです。鮮やかなイロハモミジの紅葉と青空のコントラストは息を呑むほど美しく見事でした。

次は、大自然に囲まれ悠々と立ち並ぶ白壁の酒蔵が美しい磐梯町の榮川酒造。酒蔵見学とお酒の試飲を楽しみました。

昼食は会津若松市内で、美味しい日本酒と会津の郷土料理を堪能しながらの楽しい懇親の時間となりました。

最後は喜多方市の新宮熊野神社。見所の長床前の大イチヨウは、残念ながらつすらと色づき始めた。宝物殿の文化財を見学し、熊野三社を参拝しました。

現職校長との交流会

現職校長との交流会は、現職者十七名、退職者十九名の三十六名の参加をいただきました。今回は、現職者十七名、退職者十九名の三十六名の参加をいただきました。

退職校長にとつてはかつて勤務した学校の様子や現在の学校教育事情を知る楽しみな場です。各テーブルとも時間の経過と共に話が盛り上がり楽しいひとときとなりました。

他地区から赴任された新任の校長先生にとつては、先輩から校長としての心得や地域の文化や特性等様々なことを学ぶ良い機会になつたのではないでしょうか。

準備を進めてくださった庶務の皆様ご苦労様でした。

「田村支部の課題分析と問題解決への提案」

発表担当 安瀬 一正

六月十日開催の県大会において、本支部が発表の機会をいただきました。その概要を報告いたします。

田村支部は、「会員の交流を軸とした持続可能な会活動」を目指し、現状と課題を分析した。社会環境の変化や支部が抱える問題に対応するため、発表準備委員会を組織して検討を進めてきた。

(一) 課題の認識

まず、退職校長を取り巻く環境の変化として、少子高齢化、役職定年制の導入、年金支給開始年齢の引き上げによる経済的な不安が挙げられた。また、田村支部の課題として、会員数の減少、活動参加者の限定化、交流機会の減少、そして社会貢献活動の活性化の必要性が認識されている。

現状調査で

就労割合(%)



は、定年後六十四歳までの会員の就労率が一〇〇%であり、六十九歳までの約三分の二が就労して

おり、全国と同様である。

現職校長二十三名へのアンケートでは、四十八%が役職定年への不安を抱え

ており、「教員としてのブランク」「体力面」「再就職の情報不足」「年金までの経済的フオロー」が主な理由だった。退職校長会への入会については、六十七%が

「入会するつもり」、三十三%が「まだ分からぬ」と回答しており、会の存在意義をアピールする必要性が浮き彫りになつた。

さらに、会員の高齢化による活動の困難や、少子化に伴う学校数・会員数の減少も深刻な問題になっている。過去二十年間で学校数は五十二校から二十三校に、さらに会員数も減少している。

(イ) 研修旅行の継続

交流の貴重な機会として継続するが、参加者の確保や費用面が課題であり、研修部で改善策を検討する。

(ウ) 「してみたい交流活動」

会員の趣味や興味を活かした交流活動を提案し、有志で集まる仕組みを導入する。

(ア) 専門部の設置

多くの会員が「所属意識」と「やりがい」を持って活動できるよう分担する。専門部員からは、メンバーが増えたことで意見集約がしやすくなつたとの声があつた。

(ア) 地域連携の強化

定年延長などで社会貢献に専念できる年齢が上がっている現状を考慮し、地域学校協働本部や学校運営協議会と連携して学校支援のニーズを把握。不登校生徒への学習支援、教科指導補助、部活動の見守りなどで、現職校長が求めている

振込から各方部理事による現金徴収（イ）会費徴収・文書配布方法

支援に応えることで、会員の「生きがい」を創出につなげる。

(三) まとめ

今回の発表準備を通じて、仲間と課題報等の文書も同様に手渡しを検討する。

や解決策を話し合うこと自体が、会員のやりがいにつながることが実感できた。

今後は、「みん

(ア) 会報「たむら」の活用

学校現場の現状、会員の近況、活動状況などを掲載し、会員間の交流を活発化させる。

(イ) 交流（親睦）活動の工夫

広範囲に居住する会員間の連絡を密にするため、スマートフォンなどを活用した情報共有のデジタル化を進める。

(ウ) 情報共有のデジタル化

さらに、会員の高齢化による活動の困難や、少子化に伴う学校数・会員数の減少も深刻な問題になっている。過去二十年間で学校数は五十二校から二十三校に、さらに会員数も減少している。

(ア) 研修旅行の継続

交流の貴重な機会として継続するが、参加者の確保や費用面が課題であり、研修部で改善策を検討する。

(ウ) 「してみたい交流活動」

会員の趣味や興味を活かした交流活動を提案し、有志で集まる仕組みを導入する。

(ア) 専門部の設置

多くの会員が「所属意識」と「やりがい」を持って活動できるよう分担する。専門部員からは、メンバーが増えたことで意見集約がしやすくなつたとの声があつた。

(ア) 地域連携の強化

定年延長などで社会貢献に専念できる年齢が上がっている現状を考慮し、地

域学校協働本部や学校運営協議会と連携して学校支援のニーズを把握。不登校生徒への学習支援、教科指導補助、部活動の見守りなどで、現職校長が求めている

支援に応えることで、会員の「生きがい」を創出につなげる。



会員の近況 ♪輝きひとつ♪

その後の私

佐久間 真



個人的な趣味としては、現職の頃から入会していた合唱の団体ミハルコーラスの活動に参加していることです。今年の演奏会は、「国際シニア合唱祭」「たむら合唱祭」「戦後八十周年祈念事業」「福島県南混声合唱祭」「まほらエステイバル」「グルッペ・ムシケ音楽祭」の六回でみんなの心を一つにすることです。合唱は役を引き受けました。主な役職は町内会長、民政児童委員、歴史民俗資料館長、明るい選挙推進委員長、三春町文化団体連絡協議会会长等です。

ゆっくり周りを眺めながら歩くことが、健康な心と身体つくりには何よりだと思います。

きる楽しい取り組みであり、私にとっては元気の源になっています。これからも松崎洋子先生のご指導をいただきながら、明るく楽しく歌い続けるつもりです。

早いもので退職して十年

佐久間 金治

天気のよい日には、小町ダムの湖畔を歩くことにしています。約五十分で五千歩弱の道のりです。約とてもよい散歩コースなのですが、殆ど人に出会うことはありません。



季節

毎に咲く花や草木等をスマホで撮影するのを楽しんでいます。春にはしだれ桜や山桜、夏にはニッコウキスゲやヤマユリが咲き、秋には楓の紅葉やどんぐり、冬にはカルガモやマガモが見られます。白鳥が飛来することもあります。珍しいキツネノカミソリという剃刀の形の赤い花も見つけました。驚いたのは、ニホンカモシカに出会ったことです。

受賞への感謝

根内 喜代重

第二の人生をのんびりゆつたり

堂山 昭夫



正賞 レリーフ
「笛を吹くピエロ」

思います。拓く未来に期待したいと思

の感謝とともに、子供たちが切り拓く未来に期待したいと思います。退職したらぜひひやつてみたいと思つていたことの一つに旅行があります。各地の名所を巡る旅をしてみたいです。できたらメジャーリングを現地で観戦してみたいのです。



定年退職後三年間、再任用で初任教担当教員として勤務させていました。四つの学校を日替わりで勤務するのは意外と疲れるものです。本年四月からは学校現場を離れ自宅でのんびり、ゆったりの生活を送っております。

退職後はあれもしたい、これもやりたいと夢見ながらいたのですが、いざ退職してみるとやりたいことを思うようにできていません。

退職後の毎日の日課は主に朝夕の犬の散歩、メジャーリーグテレビ野球、家や畠周りの草刈り、そして野菜づくりです。野菜づくりは高齢の母親を手伝いながら一人では何もできません。来年は少しでも自分で収穫できるようになります。

3 退職したらぜひやつてみたいと思つていたことの一つに旅行があります。各地の名所を巡る旅をしてみたいです。できたらメジャーリングを現地で観戦してみたいのです。



「管野正秀支部長さんにわざわざお祝いに来ていただき、感謝とともに退職後の人生を振り返る一つの機会になりました。

六十代は、国内外を庶民の生活を中心に自分の目で見てみようと、妻と二人すべての都道府県と二十数か国を巡った。囲碁クラブへ入会し、二十数年楽しめていたのだ。五級での入会が二段になつた。体調に波があつたため、健康づくりを兼ねて畠作に汗を流したり、友人と山菜取りに出かけたりした。八十歳になり、運転免許証を返納した。買い物や通院は常にタクシー利用で、生活は大変不便になつたが、ニュースで高齢者の悲惨な事故を目にするときも思う。現在の生活は、一時間以上かけて新聞を読み、テレビ

**田村支部交流活動
テニス、ゴルフ、麻雀、釣り、ウォーキング**

十月二十五日（土）ウォーキングとして都路町観光協会主催の行司ヶ滝秋の探勝会に参加しました。雨上がりの曇り空でしたが散策するのには快適な気候でした。最初に現れる女滝は遊歩道から覗き



十一月十五日（土）宇津峰カントリーゴルフコンペを開催いたしました。当日は、朝の冷え込みはありま

したが、穏やかな晴天に恵まれ、和氣あいあいとプレーしました。女性初の総理大臣となつた高市総理、内閣支持率が歴代一位とすこぶる評判が良いようです。物価高で苦しむ、我々年金生活者の暮らしが少しでも良くなる政治を行い、予想に反し、支持率を大きく下げないよう期待しております。

良いお年をお迎えください。（M）

「管野正秀支部長さんにお祝いに来ていただき、感謝とともに退職後の人生を振り返る一つの機会になりました。

おめでとうございます

賀寿 浮内 彰様
米寿 大谷 明弘様
喜寿 渡辺 忠次様
渡邊 勝雄様

ビ視聴は三時間ほどであろうか。少しばかりの畠作や除草を休み休みやつている。老化防止のために多くの人と接しないと言われるが、外に出るのが難しくなってきた。米寿のお祝いありがとうございます。日々元気に生活したいと思います。

交流活動報告



支部活動の活性化に向けた取組として、会員の趣味や興味を活かした交流活動を昨年度から検討していました。現在の希望者数から実施可能な次の活動を、無理のない範囲で進めて行ければと思います。

参加してみたい交流活動があれば、事務局または文書配付理事へ申し出てください。



込むと深い谷底に足下がすくむよ

谷底に足下がすくむよ

うでしたがあとでもきれいな渓谷で

した。更に遊歩道を進み急な階段を降りていくと男滝が現れます。

前日の雨の影響もあって水量も多く雄大な景色でした。マイナスイオンをたっぷり浴び心身共にリフレッシュすることが出来ました。

帰りは登りの急な階段、普段運動していない者にとってはかなりきつい登りでしたが、ほどよい疲労感を味わうことが出来ました。この日は、これから訪れる方のために小滝沢地区の方々等が環境整備奉仕作業を行つており、豚汁やおにぎりをごちそうしていただきました。

今回からは複数組での大会となることを期待しております。

ご冥福をお祈り申し上げます

浮内 彰様（九十五歳）

佐久間 未雄様（九十六歳）

室井 誠三様（九十二歳）

令和七年十月二十九日



編集後記

会員の皆様よりご寄稿いただき無事第三十二号を発行することが出来ました。皆様のご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

前評判が良くなかった大阪万博でしたが、予想に反し、多くの入場者があり大成功に終わりました。

女性初の総理大臣となつた高市総理、内閣支持率が歴代一位とすこぶる評判が良いようです。物価高で苦しむ、我々年金生活者の暮らしが少しでも良くなる政治を行い、予想に反し、支持率を大きく下げないよう期待しております。